

# 今年こそ月間目標達成、共同組織を強く大きな架け橋に

秋の「友の会月間」が始まりました。月間責任者の組織社保部長：田中賢二さんに意義や方針について話を聞きました。



## 社会情勢から、会員を増やす目的・意義が重要と思われませんが

職員だけでなく役員さんからも「なんで会員を増やさないといけないのか」、「会員を増やしてどうなるの」と私もよく耳にします。ここが第一関門でこれを完全突破しないと会員拡大は飛躍しません。しかし目的・意義がストンと落ちたら「ゴール連発」のようなくとも可能になります。

皆さんもご存知のように、「脱原発、再稼働反対」の官邸前抗議行動、電力会社への行動が報道されていますよね。職員や会員さんも関電京都支店への行動に参加されているんです。これは一人一人の要求が集まり、幅広い住民運動がつけられた証なんですね。政府や電力会社がこの行動により、「原発ゼロ」の道を指し示すかどうかかわかりませんが、声を上げ運動にしない限り、国民の関心を広げ、国民の要求、国民大多数の意見にし、「いのちを守る」ことは保証できません。

同じように、「消費税増税と社会保障切り捨て」、「米軍基地再編増強」、「TPP参加」、「格差と貧困」、「介護保険料や国保料の値上げ」など民意を反映した政治する必要があります。国のあり方を巡り激しく国民と政治のせめぎ合いが現在も続いているんです。ですから「政治を転換したい」との思いをたくさ

ん集め、今の情勢を切り開く運動を原連・法人・事業所・友の会が地域住民との架け橋となって取り組むことが求められているんです。情勢を変えよう、転換しようと思えば、多数を組織しなければなりません。仲間を増やし、共に同じ思いの人々を組織することが重要と思っています。ここに、最大の仲間増やしの目的があると思っています。

## 情勢から会員拡大が大切という大義がよく分かりました。今年の月間の課題、目標の特徴は

実は、過去5年の月間目標達成率は会員45%前後、元気誌60%の状況で残念な結果です。少なくない友の会は目標を達成していますが、法人全体では達成できていないのが実態なんです。特に、会員は年間拡大数の約70%が月間中に入会されていることから、この月間でいかに「目標を達成するか」が仲間増やしに重要です。

また、友の会の量と質は、京都保健会の事業をすすめる為の保証にもなります。

課題の1つ目は、今年には拡大目標を必ずやりきることを提起して

います。具体的には会員1000名で3名を増やし750名、1職員が1名を増やし、全体で1650名を目標とします。

2つ目は共同組織の質的な転換なんです。役員の後継者育成も大切ですが、全日本民医連が指摘している「共同組織構成員数の80〜90%の会員は日常的に関わりが無い」という実態の改善が不可欠なんです。京都保健会に当てはめると実に会員の2〜3%しか班会に参加されていない。班会も7割以上の班で開催出来ていないのが実態なんです。ですから、月間中に班会を無数に、全ての班で開催する、年間計画をつくり定期開催を軌道に乗せる、こうした組織建設にもこだわる月間に行いたいと思っています。

### 友の会秋のイベント一覧

中右京健康友の会	平和健康まつり：三条公園(10/14) 平和を考える!スツア(10/28.29)
西京健康友の会	秋のレクリエーション「柿狩りハイキング」(11/23)
吉祥院健康友の会	元気まつり(11/11)
九条健康友の会	南秋まつり(10/21)
久世健康友の会	もみじまつり(10/28)
綾部健康友の会	平和健康まつり：高津コミュニティセンター(11/18)
福知山健康友の会	健康まつり：三段池武道館(10/28) 日帰り旅行(11/15)
舞鶴健康友の会	健康まつり(10/4) 20周年記念事業(11/25)
丹後健康友の会	平和健康まつり(9/16) 映画「稲の旋律」鑑賞会(10/26) 日帰り旅行「竹田城跡・多々良木ダム」(10/28)